

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	10%炭酸カリウム
会社名	武藤化学株式会社
住所	東京都文京区本郷-2-10-7
電話番号	03-3814-5511
緊急時の電話番号	03-3814-5511
FAX番号	03-3815-4832
メールアドレス	mutopop@mutokagaku.com
推奨用途及び使用上の制限	検査・研究用

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類実施日 H23.1.31、政府向けGHS分類ガイダンス(H22.7月版)を使用

物理化学的危険性	
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 区分4
	皮膚腐食性・刺激性 区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺 区分2A
環境に対する有害性	水生環境急性有害性 区分外
	水生環境慢性有害性 区分外

<環境分類実施日に関する情報>

注) 上記で区分の記載がない危険有害性は政府向けガイダンス文書で規定された[分類対象外]、[区分外]または[分類できない]に該当するものであり、後述の該当項目の説明を確認する必要がある。

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告
飲み込むと有害
皮膚刺激
強い眼刺激

注意書き

【安全対策】

取扱後は手をよく洗うこと。
取扱後は眼をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
適切な保護手袋を着用すること。
適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合: 気分が悪い時は医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で優しく洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をする
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクト
レンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も
洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

データなし

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

国・地域情報**3. 組成及び成分情報****化学物質**

化学名又は一般名	炭酸カリウム	水
分子式(分子量)	K ₂ CO ₃	
CAS番号	584-08-7	
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	(1)-153	
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	データなし	
濃度又は濃度範囲	10%	90%

4. 応急措置**吸入した場合**

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で優しく洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して

いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

目の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は医師に連絡すること。

予想される急性症状及び遅発性症状

口をすすぐこと。

吸入：咽頭痛、咳。

皮膚：発赤、痛み。

眼：発赤、痛み。

経口摂取：のどや胸部の灼熱感。

最も重要な兆候及び症状

データなし

応急措置をする者の保護

データなし

医師に対する特別注意事項

データなし

5. 火災時の措置**消火剤**

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の保護

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具および緊急措置**

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

密閉された場所に立入る前に換気する。

全ての着火源を取り除く。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

回収・中和

漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化方法・機材
二次災害の防止策

水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策
局所排気・全体換気

特別に技術的対策は必要としない。
『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

取扱い後はよく手を洗うこと。
取扱後は眼をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
適切な保護手袋を着用すること。
適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。
10項に示す混触危険物質との接触を回避する。
特別に技術的対策は必要としない。

保管

接触回避
技術的対策
保管条件
容器包装材料

データなし。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

未設定

日本産衛学会
ACGIH

未設定
未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。

ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具 呼吸器の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。
適切な保護手袋を着用すること。
適切な眼の保護具を着用すること。
適切な保護衣を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。

衛生対策

9. 物理的及び化学的性質

物理的状 形状
色
臭い
pH

結晶および粉末
無色あるいは白色
無臭

融点・凝固点

11.6 : Merck (14th, 2006)

沸点、初留点及び沸騰範囲

891 °C : Merck (14th, 2006) /データなし

引火点

データなし

自然発火温度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

不燃性 : ICSC(J) (2005)

爆発範囲

データなし

蒸気圧

2.44E-17 mmHg (25 °C (EST)) : SRC (Access on May 2010)

蒸気密度

データなし

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

比重(密度)

2.29 g/cm³ (19 °C) : IUCLID (2000)

溶解度

111 g/100 g (25 °C) : Lide (88th, 2008)

オクタノール・水分配係数

アルコールに不溶 : Lange (16th, 2005)

分解温度

logP=-6.19 (EST) : SRC (Access on May 2010)

粘度

データなし

粉じん爆発下限濃度

データなし

最小発火エネルギー

データなし

体積抵抗率(導電率)

データなし

データなし

データなし

10. 安定性及び反応性		
安定性 危険有害反応可能性		法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる水溶液は中程度の強さの塩基である。酸、三フッ化塩素と激しく反応する。金属末と反応する。
避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物		データなし 酸、三フッ化塩素、金属末 データなし
11. 有害性情報		
急性毒性 経口		ラットLD50値: 1870 mg/kg (HSDB (2001)、IUCLID(2000))、>2000 mg/kg (IUCLID(2000))。(GHS分類: 区分4)
経皮 吸入		データなし。(GHS分類: 分類できない) 吸入(ガス): GHS定義における固体である。(GHS分類: 分類対象外)
皮膚腐食性・刺激性		吸入(蒸気): データなし。(GHS分類: 分類できない) 吸入(粉じん): データなし。(GHS分類: 分類できない) ウサギのDraize試験で、刺激指数は2.5(最大値8)、刺激性あり(irritating)の結果(IUCLID(2000))がある。(GHS分類: 区分2)
眼に対する重篤な損傷・刺激性		ウサギのDraize試験で 平均スコア値は角膜混濁2.17、虹彩炎1.33、結膜発赤3.00、結膜浮腫4.00、刺激指数は63.2(最大値110)であり、刺激性あり(irritating)の結果(IUCLID(2000))がある。なお、10%溶液(pH11.6)をウサギの眼の表面に30秒間適用により、痛みと上皮に僅かな一過性の変化が見られたとの報告(HSDB (2001))もある。(GHS分類: 区分2A)
呼吸器感受性又は皮膚感受性		呼吸器感受性: データなし。(GHS分類: 分類できない) 皮膚感受性: データなし。(GHS分類: 分類できない)
生殖細胞変異原性		エームス試験およびCHL細胞を用いた染色体異常試験で陰性の結果が得られている(以上IUCLID(2000))。(GHS分類: in vivo試験のデータがなく分類できない。)
発がん性 生殖毒性		データなし。(GHS分類: 分類できない) 妊娠ラットおよびマウスの器官形成期に経口投与した試験で、両動物種共に着床、母獣と仔の生存に対し目立った影響はなく、内臓異常および骨格異常の発生数も対照群との間に差は認められなかった(IUCLID (2000))が、親動物の交配前からの投与による性機能および生殖能に対する影響に関してはデータがない。(GHS分類: データ不足で分類できない。)
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 吸引性呼吸器有害性		データなし。(GHS分類: 分類できない) データなし。(GHS分類: 分類できない) データなし。(GHS分類: 分類できない)
12. 環境影響情報		
生態毒性 水生環境有害性(急性有害性)		甲殻類(ニセネコゼミジンコ)の48時間EC50 = 630 mg/L (AQUIRE, 2011)。(GHS分類: 区分外)
水生環境有害性(長期間有害性)		難水溶性ではなく(水溶解度: 500000 mg/L (PHYSPROP Database, 2011))、急性毒性区分外である。(GHS分類: 区分外) 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(GHS分類: 分類できない)
オゾン層への有害性		
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

該当の有無は製品によっても異なる場合がある。法規に則った試験の情報に基づく修正の必要がある。

	国連番号	1760
	品名	その他の腐食性物質(液体)
	Proper Shipping Name	CORROSIVE LIQUID, N.O.S.
	クラス	8
	PG	I
国際規制	海洋汚染物質	非該当
	海上規制情報	IMOの規定に従う。
	航空規制情報	ICAO・IATAの規定に従う。
国内規制	陸上規制情報	該当しない。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
特別安全対策		

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

15. 適用法令

船舶安全法

腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)

航空法

腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

16. その他の情報

参考文献

各データ毎に記載した。

<モデルSDSを利用するときの注意事項>

本モデルデータシートは作成年月日時点における情報に基づいて記載されておりますので、事業場においてSDSを作成するに当たっては、新たな危険有害性情報について確認することが必要です。さらに、本データシートはモデルですので、実際の製品等の性状に基づき追加修正する必要があります。また、特殊な条件下で使用するときは、その使用状況に応じた情報に基づく安全対策が必要となります。